

レビー小体型認知症患者さんとそのご家族の方へ

ドネペジル塩酸塩 OD 錠を正しく服用いただくために

◆レビー小体型認知症とは？

認知症の中で多いのが、①アルツハイマー型認知症、②レビー小体型認知症(DLB)、③脳血管性認知症であり、これら3つをまとめて「三大認知症」とよんでいます。

レビー小体は、脳の神経細胞に異常なタンパク質が蓄積したものです。

レビー小体が脳内に広く出現するとレビー小体型認知症になります。

◆レビー小体型認知症の特徴

認知機能障害

認知機能の調子が良いときと悪いときが繰り返し変化します。

症状の現れ方は人によって異なるため、うつ病やパーキンソン病、あるいはアルツハイマー型認知症などほかの病気や認知症と間違われやすく、診断が難しい病気です。

幻視

実際にはその場にはいない人や小動物などが、本人にはありありと見えるような症状です。

「虫が床を動いている」や「子どもが廊下で遊んでいる」など、話す内容は具体的です。

パーキンソン病

手足が震える、筋肉のこわばりや動作の緩慢化、表情が乏しくなる、小刻みに歩くなどの症状が現れます。

睡眠時の行動異常

夢を見ていることが多いレム睡眠時に、奇声を上げたり、暴れるなどの異常行動を示すことがあります。

自立神経症状

体を活動させる神経である「交感神経」と、休める神経である「副交感神経」の調整がうまくいかなくなり、以下のような症状がみられます。

- 立ちくらみ
- 便秘
- 寝汗の増加、多汗
- 頻尿
- 動悸
- 体のだるさ

うつ状態

気分が沈んで悲観的になり、意欲が失われる症状です。

発症後、初期の段階からみられることが多く、「うつ病」と間違われやすいです。

身体上の不調(「めまいがする」や「ふらふらする」など)を訴えるケースも多くみられます。

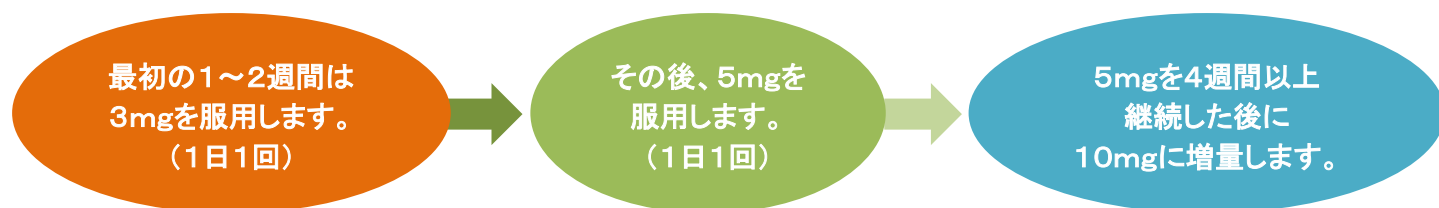
レビー小体型認知症患者さんとそのご家族の方へ

ドネペジル塩酸塩 OD 錠を正しく服用いただくために

服用に際して注意していただきたいこと

◆服用方法について

決められた量を、主治医の指示に従って、1日1回服用してください。



- 飲み忘れた場合でも、次の日に2回分を一度に飲まないでください。
- 過量に飲んでしまった場合は直ちに医師に相談してください。
- あなたの判断でお薬の服用を中止しないでください。
- このお薬は口の中で溶かして飲んでください。

◆いつもと違う症状があれば、主治医にご相談ください。

- パーキンソン病のような症状(筋肉や関節が硬くなる、手足が震える、小刻みに歩く、転びやすくなる、飲み込みが悪くなる)などが発現したり、もともとあるそれらの症状が悪化することがあります。
- 吐き気や嘔吐、食欲不振、下痢、腹痛などがあらわれることがあります。

上記以外でも気になる症状があれば、主治医または薬剤師の先生にご相談ください。